



阪本小より

令和2年 2月 第308号

中央区立阪本小学校

中央区日本橋兜町 15-3 坂本町公園内

TEL.03(3666)0044 FAX.03(3668)2366

家族の対話

副校長 萩原忠幸

今日から2月に入りました。寒い日が続く、一般的な風邪とともに、インフルエンザや感染性胃腸炎などが流行する時期でもあります。学校でも毎日の手洗い・うがいの励行、教室の湿度管理など衛生管理の徹底を図っているところですが、ご家庭でも「早寝、早起、朝ごはん」など適度な睡眠とリズムある生活を含め、健康へのご留意をお願いいたします。

さて、最近の教育関係のニュースに目を向けると、「小中学生の体力急落、中でも、小学生男子は過去最低の記録。」「都内の中学生 9割超が近視、深刻な懸念。」といった子どもの体に関する記事が気になります。

我が家も人ごとではなく、ふとその話題を家族にしようとしたところ、肝心の子どもと話す機会がなかなかとれません。記事の中には、理由や原因を「親子の対話が減少」とするものもありました。

部屋にこもってゲームやスマホに熱中する子どもたち、仕事で忙しい大人たち……。あくまでも私見ですが、社会全体が変化し、確かに私たちが子どもだった時に比べ、親子の対話の時間が圧倒的に少なくなっているように思えます。

例えば、年の暮れから振り返ってみると、私の幼少期は家族全員が大掃除にかり出されました。私は、必ず仏壇掃除と網戸洗いが担当として与えられ、終了後に大晦日恒例の歌番組を皆で視聴するのが恒例でした。また、正月には炬燵を囲み、お年玉をもらい、蜜柑をつまみながらその年の抱負を語り合ったのを記憶しています。

東京都では、「こころの東京革命」として、社会の一員として守るべきルールや役割・責任を、大人が子どもとの対話を通して伝えていく活動を進めています。その中には、親子でスポーツをしたり、家族団らんの食事をしたりすることの大切さも示されています。

幼少期における集団の中で育まれる人と人との関わりから体得する様々な喜怒哀楽や葛藤は、何事にも代え難い経験です。様々な出来事を自らの成長に生かし、将来の夢や希望、また、周りのために、社会のために自分の力を高め発揮したいというような、自己実現に向けて考える良い機会にもなります。

2月も様々な伝統行事があります。学校では、7日(金)・8日(土)に「**展覧会**」が行われます。今年度は「**思いをかたちに～見つめる感じる 伝え合う～**」をテーマに、子どもたちが想像力を働かせ、自分らしく豊かな表現を作品に込めています。8日の学校公開では、「**作品ガイドツアー**」として子どもたちが保護者の方々を案内する時間も設けられています。

家庭では、「**節分**」などが良い機会ではないでしょうか。私も、豆まきや恵方巻きを食すことにどのような意味があるのか、子どもながらに疑問に思っていました。

子どもたちが将来、心身ともに豊かな生活を送るためにも、一步先を進む我々大人が良きモデルとして身をもって示していくためにも、家族での対話の機会を今まで以上に設けていただければと思います。

<教育相談日>

毎週火・金曜にスクールカウンセラーが相談に応じます。

日	曜	2月行事予定
1	土	
2	日	
3	月	委員会
4	火	
5	水	安全指導 測定
6	木	青空班活動・なかよし給食 健康優良努力児童表彰
7	金	展覧会
8	土	学校公開 展覧会 スマイル保護者会
9	日	
10	月	クラブ
11	火	建国記念の日
12	水	
13	木	ボッチャ体験(3年)
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	4～6年6時間授業 トリトンアーツ(4・5年)
18	火	新1年生保護者会
19	水	食育(6年) お話会
20	木	第2回学校保健委員会
21	金	プログラミング教室(5年)
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	校外学習(5年)
26	水	全学年5時間授業 薬物乱用防止教室(6年)
27	木	小中連携日
28	金	
29	土	